

令和4年度

教育に関する事務の点検・評価報告書

〔令和3年度事業対象〕

佐野市教育委員会

(はじめに)

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され(平成20年4月1日施行)、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとなりました。

これを受けて、佐野市教育委員会では、効果的で効率的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的に、学識経験者の知見をいただきながら事務報告書を基にした令和3年度実施事業の点検・評価を行い、報告書を作成いたしましたので公表します。

令和4年9月
佐野市教育委員会

(参考)「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

第26条(一部省略)

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1	点検・評価の対象及び方法	1
2	教育委員会活動	2
3	教育委員会事務局各課	
(1)	教育総務課	3
(2)	学校管理課	9
(3)	学校教育課・学校給食センター	16
(4)	教育センター	22
(5)	生涯学習課・少年指導センター	27
(6)	文化財課・郷土博物館・葛生化石館・葛生伝承館	34
4	全体を通しての委員からの意見.....	40

1 点検・評価の対象及び方法

(1) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会事務局各課が実施した全ての事務事業とした。

(2) 点検・評価の方法

学識経験者の知見の活用を図るために、事務事業評価委員からの意見をいただいた。

令和3年度に佐野市教育委員会が実施した263の事務事業のうち数事業を評価委員が選択し、各課が考察した。

委員の方は次のとおりである。

(敬称略)

氏 名	経歴等
片柳 岳巳	元佐野市教育委員会委員
小曽根美栄子	元佐野市立石塚小学校長
菅原 克己	元佐野市職員、元佐野市社会教育委員

2 教育委員会活動

1 組織

- ・教育長1名、教育委員4名

2 教育委員会の活動状況

(1) 委員会の開催

定例会 臨時会の別	開催回数	付議事件件数	
		議案	報告
定例会	12	65	18
臨時会	1	1	0

(2) 研修会等

事業名	期 日	場 所	内 容
佐野市教育委員会委員視察 研修			
栃木県市町村教育委員会 連合会研修会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
安足地区市町村教育委員会 連合会教育委員研修会			

(3) その他

学校訪問

	訪問日	訪 問 校
1	令和3.12.10	天明小学校、赤見中学校、田沼東中学校
2	令和3.12.16	植野小学校、界小学校、城東中学校

その他行事等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になったことにより出席はなかった。

3 教育委員会事務局各課

(1) 教育総務課

1 組織、事務分掌及び職員（令和3年4月1日現在）

区 分	主 な 事 務 分 掌	職員数 (人)
課長	課内全般	1
総務係	教育委員会の議事及び秘書、エネルギー管理、栄典及び褒賞、育英事業、部及び課の庶務	4
教育政策係	教育振興基本計画の策定、コミュニティ・スクールの導入、通学路安全対策、その他教育施策に関すること	2
計		7

2 点検・評価

教育総務課は、佐野市総合計画に基づき、令和3年度に11の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、佐野市奨学金返済助成事業、奨学資金貸付事業、コミュニティ・スクール推進事業、佐野市教育振興基本計画策定事業について、次のとおり考察した。

(1) 佐野市奨学金返済助成事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政 策	誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり
施策名	移住定住の促進
基本事業名	定住化の促進
事業概要及び実施状況	若者の佐野市内への定住促進を目的とし、佐野市に住民登録があり、佐野市奨学金の返還を行っている者に対し、助成を行う。申請日から5年間市内に居住することを条件に、貸与されていた奨学金の月額2分の1の額を助成。申請は1年に1回。 ・令和3年度佐野市奨学金返済助成事業補助金 43人 1,035,000円 (@10,000×1人、@15,000×2人、@20,000×1人、@25,000×39人) 佐野市奨学金返済助成補助金交付要綱を制定（令和2年9月） 奨学金返済者233人全員に制度周知チラシ及び補助申請書を送付 【補助要件】申請時において本市に住所を有すること 令和2年10月～令和3年9月の奨学金の完納返済
考 察	・奨学金返済者43人より申請があり、全員に対し補助決定し、令和4年1月中旬に支払いした。 ・勤労、勤務先を本市としていないこと、郵送による申請も可とし、手続きも簡素化し、簡便で申請しやすい環境としている。

	・令和6年度までの継続事業であることから、今後助成者を増やしていければ、若者の定住増、及び奨学金返済の収納率も増となることが見込まれる。
--	--

(2) 奨学資金貸付事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり					
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり					
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備					
基本事業名	教育の機会均等に資する奨学金制度の拡充					
事業概要及び実施状況	○貸付金の内容					
	区 分			奨学金（月）		
	大学・専修学校			50千円以内		
	・奨学生の定数：毎年度30人以内（予算内）					
	・奨学金の返済は、貸与期間終了後半年経過した日の属する月の翌月から、貸与期間の4倍に相当する期間内とする。					
	・募集期間：令和2年12月1日から令和3年1月8日まで 応募者16人、貸与確定者14人（辞退2人）					
	・追加募集期間：令和3年4月1日から4月16日まで 応募者2人、貸与確定者2人					
	○奨学金貸与額（単位：千円）					
	【令和3年度】（単位：千円）					
		高 校		大学・専修学校		計
新規貸与	廃止		16人	9,480	16人	9,480
既 貸 与	3人	600	53人	30,260	56人	30,860
計	3人	600	69人	39,740	72人	40,340
【令和2年度】（単位：千円）						
	高 校		大学・専修学校		計	
新規貸与	廃止		28人	16,320	28人	16,320
既 貸 与	9人	2,040	56人	32,070	65人	34,110
計	9人	2,040	84人	48,390	93人	50,430
○奨学資金貸付金 元利収入						
【令和3年度】（単位：千円）						
	調定額		収入済額		収入未済額	
元 金	205人	70,983	198人	69,487	7人	1,496
過年度元金	20人	8,923	9人	583	16人	8,340
計	225人	79,906	207人	70,070	23人	9,836

考 察	・令和2年に行った令和3年度奨学生新規募集では、16人の応募があり、16人に内定したが、2名辞退があり、14人に決定した。令和3年4月に追加募集を行い、2人の応募があり決定し、合計16人が貸与となった。 ・奨学金貸付金の滞納については、令和2年度末での未納額と比較すると、滞納者は現年度1名減、過年度1名減であったが、未納額は現年148,000円増、過年度765,000円増となった。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、訪問による滞納整理を控えていたが、令和4年度については感染状況を見ながら、訪問を強化する。そのほか督促状、連帯保証人への催告書の発送、電話催告についても実施し、滞納額の縮減を図る。
-----	---

(3) コミュニティ・スクール推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及び実施状況	○事業概要 現在各校で実施している学校評議員制度から、地域と学校が一体となり子供たちを育成するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）に段階的に移行していく。 ○実施状況 ①あそ野学園義務教育学校への支援 学校運営協議会設置 協議会委員 14名（あそ野学園義務教育学校長を含む） 会議回数 3回 学校見学会 1回 コミュニティ・スクール活動状況を紹介するリーフレットを作成し、各学校へ周知 ②葛生義務教育学校（令和5年度開校予定）への支援 開校と同時に学校運営協議会を設置予定 ③栃木県教育委員会「学校と地域の連携推進モデル事業（頑張る学校・地域！応援プロジェクト）」の活用 葛生義務教育学校区の小学校4校（葛生小・葛生南小・常盤小・氷室小）を研究指定校として、県教委と市教委が連携して支援し、研修会の開催、リーフレットの作成・配布などコミュニティ・スクール導入の基盤づくりをした。

	【会議等】 令和3年5月10日 第1回連携推進会議 6月1日 葛生小学校連携会議 令和4年2月22日 第2回連携推進会議 【葛生・常盤中学校区教職員研修会】 開催日 令和3年6月23日 演題 「コミュニティ・スクール（CS）における教職員の役割」 講師 福田晴一 氏（佐野市地域連携マイスター） 【葛生・常盤中学校区ボランティア研修】 開催日 令和3年12月21日 演題 「学校と地域の連携・協働のススメ～よきパートナーとなるために～」 講師 福田晴一 氏（佐野市地域連携マイスター） 【リーフレット作成】 10月／2月 市内小中学校のほか、葛生義務教育学区の全戸に配布 ④市内全校にコミュニティ・スクールを導入するための支援 【管理職研修会】 開催日 令和4年1月11日（火） 演題 「コミュニティ・スクール推進における管理職の役割について -令和の日本型学校教育の実現に向けて-」 講師 福田晴一 氏（佐野市地域連携マイスター） 【設置計画】 <table><tr><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th></tr><tr><td>葛生義務教育学校</td><td>小学校Aグループ （佐野小、天明小、植野小、界小、犬伏小、犬伏東小、城北小、旗川小、吾妻小）</td><td>小学校Bグループ （赤見小、石塚小、出流原小、田沼小、吉水小、栃本小、多田小）</td><td>中学校 （城東中、西中、南中、北中、赤見中、田沼東中） →<u>全校導入</u></td></tr></table>	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	葛生義務教育学校	小学校Aグループ （佐野小、天明小、植野小、界小、犬伏小、犬伏東小、城北小、旗川小、吾妻小）	小学校Bグループ （赤見小、石塚小、出流原小、田沼小、吉水小、栃本小、多田小）	中学校 （城東中、西中、南中、北中、赤見中、田沼東中） → <u>全校導入</u>
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度						
葛生義務教育学校	小学校Aグループ （佐野小、天明小、植野小、界小、犬伏小、犬伏東小、城北小、旗川小、吾妻小）	小学校Bグループ （赤見小、石塚小、出流原小、田沼小、吉水小、栃本小、多田小）	中学校 （城東中、西中、南中、北中、赤見中、田沼東中） → <u>全校導入</u>						
考 察	・葛生義務教育学校については、令和5年度の学校運営協議会設置に向け、引き続き支援をしていく。 ・コミュニティ・スクール導入を進める上で参考となる情報を発信していきたい。								

(4) 教育振興基本計画策定事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及び実施状況	○事業概要 教育基本法第17条2項の教育振興基本計画策定の努力義務を受け、佐野市教育振興基本計画を策定する。 【計画の位置付け】佐野市総合計画及び佐野市教育大綱の個別計画 【計画期間】令和4（2022）年度～令和7（2025）年度の4年間 ○実施状況 ・佐野市教育振興基本計画策定検討委員会 6回開催（計画案の協議と作成） ・佐野市教育振興基本計画策定懇談会 3回開催及び書面での協議を実施（計画案に対する意見） ・教育委員会協議会で教育委員との協議を実施（計画案に対する意見） ・政策調整会議、政策会議（計画に対する意見） ・パブリックコメントの実施（令和4年1月4日～2月4日） ○基本理念 「豊かな学びを通して ふるさとを愛し 持続可能な社会の創り手を育む佐野市の教育」 ○施策体系 基本的方向1 特色ある教育と心の教育の推進 基本的方向2 安全・安心で良好な教育環境の整備 基本的方向3 教育を支える地域づくりの推進 基本的方向4 生活を豊かにする生涯学習の推進 基本的方向5 スポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成 基本的方向6 文化芸術活動の推進 基本的方向7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用
考 察	・令和4年3月策定。令和4年4月からは本計画に基づき事業を実施している。 ・令和5年度に実施する「教育に関する事務の点検・評価」では、本計画に基づく成果指標の達成状況を評価するため、報告書の素案を検討していく。

委員からの意見

- ・奨学金返済助成事業について、財源等工夫して継続してほしい。
- ・奨学資金貸付事業について、財源の問題もあり難しいと思うが、給付型奨学金についても引き続き検討してほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

奨学金返済助成事業について、もう少し金額を充実させてほしい。

【報告】

奨学金年間返済額が30万円の場合、助成額は年額2万5千円となるが、妥当と考える。

財政課との予算協議でも住民税納付額（市役所勤務3年目納税額8万2千円）からも妥当となっている。本事業は令和6年度までの事業だが、これを継続して、貸与事業とセットで行いたいと考えている。

【意見】

コミュニティ・スクール推進事業について、ぜひ推進してほしい。

【報告】

令和8年度から全校にコミュニティ・スクールを導入することが決まり、令和5年度の葛生義務教育学校、令和6年度の小学校Aグループの導入に向けて準備を進めている。

令和4年度は栃木県教育委員会「学校と地域の連携推進モデル事業（頑張る学校・地域！応援プロジェクト）」により、界小学校を研究センター校として、研修や活動支援を行っている。

(2) 学校管理課

1 組織、事務分掌及び職員（令和3年4月1日現在）

区 分	主 な 事 務 分 掌	職員数 (人)
課長	課内全般	1
学校管理係	小中学校の適正規模及び適正配置の推進 学校予算の配分及び執行管理、教具及び教材の整備	4
学校施設係	学校施設の維持補修や学校敷地内の環境整備 スクールバスの運行管理	13
計		18

2 点検・評価

学校管理課は、佐野市総合計画に基づき、令和3年度に42の事務事業を執行した。

その中の小中学校スクール・サポート・スタッフ配置事業、小中学校新型コロナウイルス感染症対策事業、小中学校トイレ洋式化事業、葛生・常盤中学校区小中一貫校整備事業について、次のとおり考察した。

(1) 小中学校スクール・サポート・スタッフ配置事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・教職員の働き方改革推進の一環として、教員に代わって資料作成や授業準備、学校行事・式典等の準備補助等を行うスクール・サポート・スタッフを配置する。 ○実施状況 ・学級数標準（12学級）以上の天明小学校、植野小学校、界小学校、犬伏小学校、城北小学校、田沼小学校、あそ野学園義務教育学校（前期課程）、南中学校、北中学校に各1名配置。
考 察	・スクール・サポート・スタッフが配置されることで、これまで教員が一人で実施してきた業務を分担することが可能となり、教員の負担減、児童と向き合う時間の増加につながった。

(2) 小中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	○事業概要 学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことに伴い、学校運営上必要な感染症対策を行うため、保健衛生用品等を整備する。 ○実施状況 各学校長から要望のあった新型コロナウイルス感染症予防対策のための保健衛生用品等の購入を行った。 令和2年度から繰越した予算では、自動手指消毒器、アルコール消毒液、石けん液やパーテーション等の衛生用品を購入した。また、新規事業として補正予算を計上し、サーキュレーター及びCO2モニター等の購入を行った。事業費の一部を令和4年度に繰越。
考 察	・感染症予防対策を講じることにより、児童生徒・教職員が安心、安全に授業に取り組むことにつながった。

(3) 小中学校トイレ洋式化事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・平成29年度に行われた文部科学省による調査において、栃木県内における小中学校のトイレ洋式化率の平均は47.5%となっており、佐野市における洋式化率は30.2%と低い結果となっていた。このことを受け、市内の少中学校におけるトイレ洋式化率を50%として定め、令和元年度からトイレ洋式化事業を開始し、令和5年度末までに全校50%になるよう事業を実施する。 ○実施状況 ・吉水小学校外4校トイレ洋式化改修工事 請負金額：17,589,000円 工期：令和3年5月18日～令和3年8月31日 請負業者：(有) 押山

	工事概要：吉水小学校（7基）、栃本小学校（8基）、多田小学校（8基）、出流原小学校（4基）、犬伏小学校（2基）における和式トイレの洋式化改修工事 ・城東中学校外1校トイレ洋式化改修工事 請負金額：28,358,000 円 工期：令和3年5月19日～令和3年8月31日 請負業者：（有）カワダ住宅設備 工事概要：城東中学校（25基）、北中学校（23基）における和式トイレの洋式化改修工事
考 察	・小中学校トイレ洋式化事業の年次計画に基づき改修工事を行った。 ・和式トイレに馴染みのない児童生徒が増えており、学校でのトイレ利用を我慢して健康を損なう恐れがあるため、洋式トイレに改修することで、安心して学べる教育環境が整備された。

（4）葛生・常盤中学校区小中一貫校整備事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	市立学校の適正規模・適正配置の推進
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・葛生・常盤地区小中一貫校（葛生義務教育学校）の令和5年度開校に向け、校舎等の改修工事に取り組み、学校環境整備を進める。 ○実施状況 ・葛生義務教育学校校舎改修建築工事 請負金額：1,468,500,000 円 工期：令和2年9月29日～令和3年11月30日 請負業者：大幸・酒庭・奥特定建設工事共同企業体 構造：鉄筋コンクリート造、3階建て（改修工事部分） 鉄骨造、3階建て（一部増築工事部分） 改修概要：屋上防水改修工事、外壁改修工事、建具改修工事、内装改修工事 躯体改修工事、家具工事、各部撤去工事 ・葛生義務教育学校校舎改修電気設備工事 請負金額：211,530,000 円 工期：令和2年9月29日～令和3年11月30日

	請負業者：飯島・片柳特定建設工事共同企業体 工事内容：校舎改修及び一部増築に伴う電気設備工事 改修概要：電灯設備工事、動力設備工事、受変電設備工事、構内情報通信網設備工事、構内交換設備工事、情報表示設備工事、拡声設備工事、誘導支援設備工事、テレビ共同受信設備工事、火災報知設備工事、構内配電線路工事、各部撤去工事 ・葛生義務教育学校校舎改修機械設備工事 請負金額：216,436,000 円 工期：令和2年9月29日～令和3年11月30日 請負業者：ケイノ・飯塚特定建設工事共同企業体 工事内容：校舎改修及び一部増築に伴う機械設備工事 改修概要：空気調和設備工事、換気設備工事、衛生器具設備工事、屋内給水設備工事、屋外給水設備工事、屋内排水設備工事、屋外排水設備工事、給湯設備工事、ガス設備工事、屋内消火栓設備工事、雨水排水設備工事、量水器移設工事、各部撤去工事 ・葛生義務教育学校プール改築建築工事 請負金額：184,800,000 円 工期：令和2年9月29日～令和3年9月30日 請負業者：篠崎建設（株） 構造：ステンレス製プール：25m×13m（6コース）（改築工事） 更衣室棟：鉄筋コンクリート造、平屋建て 工事概要：土工事、地業工事、鉄筋工事、コンクリート工事、型枠工事、防水工事、金属工事、左官工事、建具工事、塗装工事、内外装工事、家具及びその他工事、プール本体工事、日除けパーゴラ工事 ・葛生義務教育学校プール改築設備工事 請負金額：40,865,000 円 工期：令和2年10月2日～令和3年9月30日 請負業者：青木設備工業（株） 工事内容：プール改築に伴う電気及び機械設備工事 工事概要 「機械設備工事」：換気設備工事、衛生器具設備工事、給水設備工事、排水設備工事、濾過機工事、消火設備工事、雨水排水設備工事、給水管引込切替及び量水器移設工事、各部撤去工事 「電気設備工事」：電灯設備工事、幹線動力設備工事、構内交換設備工事、各部撤去工事
--	---

	・葛生義務教育学校屋内運動場改修工事 請負金額：100,727,000 円 工期：令和2年8月25日～令和3年4月30日 請負業者：(株) 落合土木 構造：鉄骨造、2階建て（改修工事） 工事概要 「建築工事」：屋根防水改修工事、外壁改修工事、内装及び塗装改修工事、体育器具改修工事 「電気設備工事」：電灯設備改修工事 「機械設備工事」：衛生器具設備工事、給水設備工事、排水設備工事、各部撤去工事 ・葛生義務教育学校校庭整備工事 請負金額：112,970,000 円 工期：令和3年9月21日～令和4年3月10日 請負業者：山菊開発（株） 工事内容：敷地内の外構整備 工事概要 「撤去工事」：AS舗装撤去、歩車道ブロック撤去、コンクリート柱撤去、防球ネット撤去 「改修工事」：浸透施設、側溝、重力壁及び階段、国旗掲揚塔補修、スポーツ施設及びグラウンド施設、塗装工事、破損箇所補修、校庭整備舗装・ブロック・溶着ライン等、移設・仮置き・再設置 ・葛生義務教育学校屋外便所建設工事 請負金額：17,347,000 円 工期：令和3年9月22日～令和4年3月10日 請負業者：(株) 木村土建 構造：木造平屋建て 工事概要：建築工事、電気設備工事、給排水設備工事、換気設備工事 ・葛生義務教育学校低鉄棒設置工事 請負金額：754,600 円 工期：令和4年3月1日～令和4年3月30日 請負業者：(株) ノザワスポーツ 工事概要：低鉄棒の設置
--	---

	・葛生義務教育学校整備事業工事監理業務委託 請負金額：28,380,000 円 履行期間：令和2年9月16日～令和4年3月10日 請負業者：土澤設計 業務内容：工事監理業務1式 監理対象工事：校舎改修工事、プール改築工事、屋内運動場改修工事、校庭整備工事、屋外便所建設工事
考 察	・葛生・常盤中学校区小中一貫校（葛生義務教育学校）の環境整備については、令和5年度の開校に向け準備を進め、平成30年度は「地質調査、体力度調査、及び基本計画」を、令和元年度は「実施設計」を行い、令和2年度は「校舎改修工事」「プール改築工事」「屋内運動場改修工事」を発注し工事に着手した。 ・継続費上、令和2年度分の工事が令和3年度へ通次繰越となり、令和3年度は、「校庭整備工事」「屋外便所建設工事」「低鉄棒設置工事」を発注し、すべての工事が完了した。

委員からの意見

- ・新型コロナウイルス感染症対策について、児童生徒も教職員も安心して過ごせるようにしてほしい。
- ・トイレ洋式化事業について、現在ではほとんどの児童が洋式トイレしか知らないと思われる。出来ればシャワー式トイレの設置を希望する。
- ・小中一貫校整備について、人口が減少しても全ての児童生徒が同じ教育環境で勉強できるように早めに整備を進めてほしい。
- ・遊具の点検について、専門業者による定期的な点検があると子どもたちも安心して使用できるので、ぜひお願いしたい。

前年度の委員からの意見に対する報告

【意見】

学校遊具について、子どもたちが使うものなので早めの改修をお願いしたい。

【報告】

令和4年度に、植野小学校、界小学校、城北小学校、赤見小学校の鉄棒等の改修工事を予定しており、現在工事発注に向けて各学校との調整を行っている。

遊具の改修工事については、国庫補助金や起債等の財源を充当することができないため、厳しい財政状況の中で予算の確保に苦慮しているところだが、今後も計画的に遊具の改修工事を行いたいと考えている。

【意見】

学校遊具について、専門業者による定期的な点検を行ってほしい。

【報告】

学校遊具については、必要に応じて専門業者による点検を行い、判定ランクや必要性を考慮し、計画的に改修工事を実施している。

また、専門業者による定期点検を行わない場合であっても、職員による点検を行うことで、遊具の安全性を確保しているが、今後は、専門業者による定期的な点検行うことを考えている。

(3) 学校教育課・学校給食センター

1 組織、事務分掌及び職員（令和3年4月1日現在）

区 分	主 な 事 務 分 掌	職員数(人)
課長	課内全般	1
学務係	学齢児童生徒の就学、児童生徒の入学・転学・退学、教育支援委員会に関する事務、就学援助、医療扶助、保健衛生及び学校保健会に関する事務、日本スポーツ振興センターに関する事務、教科用図書無償給与、課の庶務	3
教職員係	県費負担教職員の任免等に関する事務、教職員に係る報告・届出・証明、教職員の研修、教職員の保健衛生に関する事務	3
指導係	教育課程及び学習指導や児童・生徒指導等に関する指導助言、研究学校の研究推進に関する指導助言、教科用図書採択及び教師用教科書・準教科書・副読本等の配付に係る事務、A L T及び日本語教室の指導員の配置、さわやか教育指導員、さわやか健康指導員、特別支援学級支援員の配置	8
学校給食係	学校給食の計画、調査、研究及び指導、学校給食施設の設置並びに管理及び運営、学校給食職員の研修、児童・生徒の学校給食費の徴収	3（係長は南部学校給食センター所長を兼務）
南部学校給食センター	給食の献立作成、調理、運搬及び栄養指導、食品材料の発注及び検収、施設の維持管理、給食費に関すること 受配校 11校 佐野小学校 天明小学校 植野小学校 界小学校 犬伏小学校 犬伏東小学校 吾妻小学校 城東中学校 西中学校 南中学校 北中学校	4（内所長は学校給食係長との兼務）
北部学校給食センター	給食の献立作成、調理、運搬及び栄養指導、食品材料の発注及び検収、施設の維持管理、給食費に関すること 受配校 18校 城北小学校 旗川小学校 赤見小学校 石塚小学校 出流原小学校 田沼小学校 吉水小学校 栃本小学校 多田小学校 葛生小学校 葛生南小学校 常盤小学校 氷室小学校 赤見中学校 田沼東中学校 葛生中学校 常盤中学校 あそ野学園義務教育学校	20
計		42

2 点検・評価

学校教育課は、佐野市総合計画に基づき、令和３年度に８２の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、小中一貫教育推進事業、中学校準教科書給与事業、中学校道徳副読本整備事業、地域部活動推進事業について、次のとおり考察した。

(１) 小中一貫教育推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	小中一貫教育の推進
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・ 全小中学校を小中一貫教育推進ブロック（幹事校：各中学校）に指定し、各推進ブロックで推進する小中一貫教育の取組を支援する。また、学校教育指導員を１名配置し、その充実を図る。 ・ 小中一貫教育推進ブロックごとに、９年間の継続した系統的な学習指導の在り方や児童生徒の交流活動などについて研究する。 ・ 小中学校教員が共同して、９年間を見通した継続性のある指導を行うことで、「中１ギャップ」等の解消を図るとともに、本市の児童生徒に確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図る。 ○実施状況 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事の合同開催など児童生徒及び児童同士の交流活動や、合同研修会など小中学校教員の交流・相互理解の促進が思うように進まなかったが、オンラインによる児童生徒の交流など、各推進ブロックごとに、それぞれの地域や学校の実情に応じて、工夫しながら小中一貫教育を研究、実践した。 ・ 保護者向け啓発リーフレットを作成し、配付した。 ・ 学校教育指導員による学校訪問回数・・・延べ４４回（２４校）
考 察	・ 義務教育９年間を見通し、系統的、継続的な学習指導が行われることで、児童生徒の学習習慣の確立や確かな学力の定着を図ることができた。 ・ 小・中学校の教職員が情報を共有し合い、一貫性のある継続した指導を行うことにより、「中１ギャップ」等の児童生徒の不安感を軽減することができた。 ・ 小・中学校それぞれの教員が指導力、授業力などの資質の向上を図ることができた。 ・ 小中一貫教育は今後も本市の重要な施策の一つとして取り組んでいく必要がある。

(2) 中学校準教科書給与事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・中学校 1 年生、2 年生、3 年生に進路に関する準教科書、中学校 1 年生に社会科、体育科、美術科の準教科書を給与する事業 ○実施状況 ・市内の市立中学校及び義務教育学校 7 年生以上のすべての生徒 2601 名に進路に関する準教科書を、市内の市立中学校 1 年生及び義務教育学校 7 年生 830 名に社会科、体育科、美術科の準教科書を給与した。 ・すべての市立中学校及び義務教育学校で準教科書を利用して、進路、社会科、体育科、美術科の学習が行われた。
考 察	・準教科書を利用することにより、生徒の学習活動の充実が図られている。 ・進路に関する準教科書には、栃木県の情報が詳しく掲載されているので、高校への進学をはじめ、生徒たちの主体的な進路選択に役立てることができている。

(3) 中学校道徳副読本整備事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・中学校用道徳教育教材（「中学生のための礼儀・作法読本」）を中学校 1 年生・義務教育学校 7 年生及び小・中・義務教育学校の担任に配布する事業である。（平成 31 年度から道徳の教科化に伴い、国から教科書が支給されることになったため副読本整備は終了し、道徳教育教材として「中学生のための礼儀・作法読本」を中学校 1 年生・義務教育学校 7 年生及び小・中・義務教育学校担任に配布する事業を継続している。）
考 察	・教育活動全体を通じた道徳教育において、給与した「中学生のための礼儀・作法読本」を活用することによって、道徳教育の充実を図ることができた。 ・礼儀・作法の基本（正しい「姿勢と動作」；心を届ける「あいさつ」；言葉づかいの遣い「敬語」；食事のマナー；電話の受け方・応え方；手紙の書き方）を学ぶことによって、気持ちよく和やかな生活を送ることができている。

(4) 地域部活動推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・県から事業委託を受けて、休日の部活動の段階的な地域移行に向けて実践研究を行う。 ・市教育委員会が拠点校を指定し、外部の地域スポーツ等活動運営団体に部活動の指導及び、関係事務業務を委託し実施する。 ○実施状況 ・佐野市立田沼東中学校を拠点校に指定し、吹奏楽部とすべての運動部活動（12 の部活動）を対象に休日の部活動の段階的な地域移行に向けて実践研究を行った。 ・外部の地域スポーツ等活動運営団体である、田沼アスレチッククラブに部活動の指導及び、関係事務業務を委託し、月に 2 回程度、地域の指導者が部活動の指導を行った。
考 察	・教職員の負担の軽減につながるとともに、生徒の活動機会を確保することにもつながっている。 ・生徒が専門的な技術をもつ指導者から望ましい指導を受けられている。 ・部活動顧問と外部の指導員の間で、情報共有を図ることで効果的な指導が図られている。 ・保護者や生徒からも一定の評価を得られている。 ・令和 4 年度までは、国の委託事業であり、財源が確保されていたものの、令和 5 年度以降は、国の予算が確保されるかが不透明な状況にある。そのため事業の継続には、財源の確保が必要になる。

委員からの意見

- ・小学校における交換授業、教科担任制は、教材研究も効率的にできるという点で教員にとって良く、専門性が活かせる授業構成や中学校への円滑な接続にも繋がり、子どもたちにとっても良いことなので、取り入れながらやってほしい。
- ・あそ野学園義務教育学校における施設一体型小中一貫教育の効果を検証をしながら、その結果を周知すると共に今後の小中一貫校の推進に役立ててほしい。
- ・地域部活動の推進について、教職員の負担軽減に繋がるので推進してほしい。
- ・地域部活動の推進について、家庭の負担にならないように、財源の確保について検討してほしい。

・地域部活動の推進について、専門的な知識をもった団体が受け皿となってもらえるよう進めてほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

新型コロナウイルス感染について、個人情報に留意しながら必要な情報を提供してほしい。

【報告】

家庭の意向を尊重しながら、保護者や市民が不安を感じないよう、迅速な情報提供に努めた。感染が確認された際の対応など、最新の情報を適切に周知した。

【意見】

複式学級になる学校が出てくることを見据えて、小中一貫教育を推進してほしい。

【報告】

中学校区における義務教育9年間を見据えた小中一貫教育を今後も継続していく。小中の連携だけでなく、学区内の小中の連携を強化することで、複式学級のデメリットを抑えていく。

【意見】

部活動の外部指導者として適材な人を配置してほしい。

【報告】

外部指導者派遣事業により、指導者の要望があった部活動に、指導ができる人材を配置できた。今後は指導者の資格や研修等について検討していく必要がある。

【意見】

部活動の外部指導について、指導者と学校で上手くコミュニケーションを図りながら運用してほしい。

【報告】

部活動顧問と外部の指導員の間で、子どもの情報や指導方針等が共有されて指導が行われている。教員の負担軽減にもつながっている。

【意見】

教員の健康面に配慮し、ゆとりをもって子どもたちに接することができるようにしてほしい。

【報告】

教職員の働き方改革を進めるために、各校が実践している一校一改革・一挑戦に、働き方改革に関する取組を付け加えた。年度末に各校の取組を紹介することで、効果的な取組を多くの学校が採り入れられるようにする。

また、今年度から教職員の出退勤管理を C4th（本市導入の校務支援システム）で行っている。教職員一人一人が在校時間の削減を意識し、長時間勤務によって生じる健康面での負荷を減らすように、管理職が働きかけできるシステムを本格始動させた。

さらに、県の公立学校共済組合と協力し、ストレスチェックを実施しており、ストレス過多と判断された教職員に対し専門医による面接を行っている。

(4) 教育センター

1 組織、事務分掌及び職員（令和3年4月1日現在）

区 分	主 な 事 務 分 掌	職員数 (人)
所長	所内全般	1
教育センター	調査研究、教育相談、情報教育、特別支援教育、教育情報の収集と提供、教職員の研修、アクティヴ教室教育支援員等の配置、教育センターの企画運営、教育センター施設の維持・管理	5
計		6

2 点検・評価

教育センターは、佐野市総合計画に基づき、令和3年度に20の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、情報教育アドバイザー活用事業、ICT活用自学自習支援事業、小中学校GIGAスクール構想推進事業について、次のとおり考察した。

(1) 情報教育アドバイザー活用事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	教職員の資質の向上
事業概要及び実施状況	○事業概要 教育センターに配置した「情報教育アドバイザー」を佐野市立学校に適宜派遣して、各学校の情報化並びに情報教育の推進を図る。 ○実施状況 ・派遣校：市内3校（小・中・義務教育学校）担当 1名 市内13校（小・中）担当 1名 市内13校（小・中）担当 1名 ※担当校を1か月で約1回の訪問 ・業務内容：コンピュータ等を使用した学習についての助言及び授業支援 学校Webサイト作成等の助言及び支援 情報機器及びLANのトラブル等に対する助言及び支援 教育センターにおけるICTの活用に関わる業務 ・勤務態様：1日7時間、週5日間の勤務
考 察	・学校訪問の際には、学校からの支援依頼をもとに、学校の実情に合わせて対応した。 ・教職員と児童生徒の情報活用能力を育成するため、1人1台端末を活用した

	授業や校内研修に情報教育アドバイザーが参加し、支援を行った。 ・GIGAスクール構想推進のため、教育センターにおいて、システム等の構築準備、各種システム業者との打合せ、年度更新業務等を担当した。
--	---

(2) 教職員の指導力向上事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	教職員の資質の向上
事業概要及び実施状況	○事業概要 教育委員会主催による教職員研修を実施することにより、教職員に求められている専門職としての資質能力、今日的な課題に対応できる確かな力量及び優れた人間力などを身に付け、特色ある教育、心の教育が実践できる教職員を育成する。 ○実施状況 ・ICT活用関係研修 3回、業者による各校への訪問研修 各校1回 ・夏期研修（特別支援教育研修会、情報教育研修会（2回）、教育相談研修会、学級経営研修会）計5回 ・パワーアップ研修講座（学習指導3回、教育相談、特別支援教育、情報教育、英語教育）計7回
考 察	・ICT活用研修や各校へ訪問しての研修では、主に1人1台端末の利活用について学ぶことができた。 ・夏期研修では、コロナウィルス感染拡大防止のため、5回予定していた情報教育研修会が2回しか実施できなかった。また、他の研修会はオンラインでの研修となった。 ・パワーアップ研修講座は、時間外の自主的な研修であるが、定員を超える申込みもあった。

(3) 安全情報共有システム実施事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実
事業概要及び実施状況	○事業概要 児童生徒等の安全確保を目指し、学校、保護者及び関係機関がICT機器を利用して、安全に関する情報の共有を図る。 ・不審者情報をはじめとする子供たちの安全に関する情報を教育委員会及

	び学校からメール配信する。(さくら連絡網) ・各学校が学校 Web サイトを通して緊急連絡等の情報を発信する情報の共有化システムを構築する。 ○実施状況 ・一斉メール配信システム保護者登録率 99.3% ・一斉メール配信システム地域ボランティア等登録者数 246名 ・学校からのメール配信数 3,009件
考 察	・新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業の際は、各学校からの連絡を保護者にメール配信したり学校 Web サイトで発信したりすることで周知が図れた。また、感染状況に応じた感染対策を教育委員会から保護者にメール配信することで、効果的に啓発することができた。 ・不審者情報や台風等の自然災害への注意喚起を適宜メール配信することで、児童生徒の安全を確保することができた。

(4) 教育相談事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	地域とともに学び育てるまちづくり
施策名	学校・家庭・地域連携による教育力の向上
基本事業名	いじめ問題に対する学校・家庭・地域の連携
事業概要及び実施状況	○事業概要 幼児及び児童生徒の心身の健全な育成を図るため、教育上の問題や悩みをもつ児童生徒及び保護者等を対象に教育相談を実施し、問題解決の援助を行う。(電話相談、来所相談、学校への巡回相談、学校からの要請による臨床心理士及びスクールソーシャルワーカーの派遣) ○実施状況 ・教育相談員 5名(幼稚園長、小学校教諭2名、適応指導教室担当教諭2名) ※教育センター相談員で対応が難しい事例を扱う ※令和3年度は相談依頼なし ・教育センター相談員 2名(元校長、臨床心理士) ※相談員による対応相談回数 137回 - 臨床心理士による学校支援回数 214回 ・スクールソーシャルワーカー 2名 ※学校訪問125回 / 支援ケース83ケース / 家庭訪問80回
考 察	・教育センター相談員による電話相談、来所相談を通して、保護者や児童生徒等の相談者の心の中にある悩み、不安、ストレス等を和らげ、心の安定へとつなげることができた。相談者の了承を得たうえで相談内容を学校に伝え

	ることで、学校が早期に対応することのできた事例もあった。 ・スクールソーシャルワーカーが学校や関係機関と連携していじめや不登校等への対応を行うことで、早期対応、早期解決につながった事例もあった。
--	--

(5) 新型コロナウイルス感染症対策 ICT 環境整備事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	○事業概要 新型コロナウイルス感染対策として学校内の三密を防ぐため、Wi-Fi 環境のない特別教室や体育館等を利用する際に、Wi-Fi 環境を拡充するためのモバイル Wi-Fi ルータ及び SIM カードを貸与する。 また、双方向のオンライン学習を実施する場合、映像が途切れる等、ネットワークの不具合を解消するため、学校から直接インターネットに接続できる指導者用の ChromeOS 端末を整備する。 ○実施状況 ・学校に配備したモバイル Wi-Fi ルータの数 530 台 ・学校に配付したプリペイド型 SIM カードの数 200 枚 ・学校に配備した指導者用端末 (ChromeOS) の整備数 200 台
考 察	・モバイル Wi-Fi ルータ及び SIM カードを活用することで、卒業式や入学式、保護者会などの学校行事や授業等を、三密を避けつつ可能な限り実施することができた。

委員からの意見

- ・ GIGA スクール構想の推進や教育における ICT の日常化のため、情報教育アドバイザーは重要である。ぜひ人員を確保して事業を継続してほしい。
- ・教員の指導力向上について、新型コロナウイルス対策により対面での授業指導が困難なため、録画した授業を活用するなどの工夫をしてほしい。
- ・安全情報共有システム実施事業について、不審者情報、自然災害、交通事故等児童生徒を取り巻く環境が大変厳しくなっているため、一刻も早く情報を共有することが安全確保に繋がると思うので、積極的に活用してほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

小学校の頃からしっかりとした情報活用能力の育成をしてほしい。

【報告】

教職員と児童生徒の情報活用能力を育成するため、1人1台端末を活用した授業や校内研修に情報教育アドバイザーが参加し、支援を行った。

児童生徒の情報活用能力の育成には、教職員のICT活用指導力の向上が不可欠であることから、教職員の指導力向上事業においてICT活用に関する研修の回数を増やして実施した。

(5) 生涯学習課・少年指導センター

1 組織、事務分掌及び職員（令和3年4月1日現在）

生涯学習課

区 分	主 な 事 務 分 掌	職員数 (人)
課長	課内全般	1
生涯学習係	生涯学習の企画及び総合調整、生涯学習推進協議会、生涯学習情報の収集・提供、調査研究、課の庶務	3
社会教育係	社会教育の企画及び総合調整、社会教育委員、家庭教育・成人教育・女性教育・青少年教育・社会教育の推進、社会教育施設、社会教育関係団体の指導助言、図書館に関すること	5
公民館管理係	公民館の管理及び運営、公民館運営審議会、公民館施設等の営繕保全の計画及び実施、各地区公民館との連絡調整、	2
(公民館)	公民館開催事業の計画及び実施、敬老会事業、コミュニティ活動及び支援	8
計		19

少年指導センター

区 分	主 な 事 務 分 掌	職員数 (人)
所長	所内全般	1(生涯学習課長兼務)
少年指導センター	少年指導センターの運営、青少年に関する相談・指導、立入調査・環境浄化活動	2(社会教育係長、社会教育係主任兼務)
計		3

2 点検・評価

生涯学習課・少年指導センターは、佐野市総合計画に基づき、令和3年度に82の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、青少年活動育成促進事業、地域学校協働活動推進事業、放課後子ども教室推進事業、街頭補導実施事業、公民館利用状況について、次のとおり考察した。

(1) 青少年活動育成促進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政 策	地域とともに学び育てるまちづくり
施策名	生活を豊かにする生涯学習の推進
基本事業名	青少年の健全育成
事業概要及び実施状況	○事業概要 中・義・高生が「集い・話し合い・活動していく」ボランティアを体験することにより、ボランティア活動への理解と関心を深め、地域活動への参加意欲を高めるため、研修会を開催した。 ○実施状況 中学・義務教育学校・高校生を対象にボランティア研修会を開催し、子どもに関わるボランティア体験活動の機会を提供した。 【研修内容・日程・開催場所】 1. ボランティアについて学ぼう①（参加者44名） 4月25日(日) 13:30 ～ こどもの国 ・オリエンテーション ・ボランティアとは ・危険予知トレーニング 2. ボランティア実践「こどもフェスティバル」 (※新型コロナウイルス感染症の影響のため中止) 5月5日(水・祝) 8:30 ～ こどもの国 3. ボランティアについて学ぼう②（参加者33名） 6月13日(日) 9:00 ～ こどもの国 ・基調講話 ・こどもの国での遊び支援 4. レクリンピック企画・準備 (※新型コロナウイルス感染症の影響のため中止) 9月26日(日) 9:00 ～ こどもの国 5. ボランティア実践「レクリンピック」 (※新型コロナウイルス感染症の影響のため中止) 10月17日(日) 8:30 ～ こどもの国 6. 活動の振り返り(参加者32名) 11月3日(水・祝) 9:00 ～ こどもの国 ・特別講話 ・これまでの活動振り返り ・修了証授与 ・講師からのメッセージ
考 察	・コロナ禍において、中止となった研修会もあったが、こどもの国の支援活動を実施し、ボランティアを実際に体験する機会を作ることができた。また、講師による基調講話を実施することにより、ボランティアに対しての学びの場を確保することができ、研修生の知識や意識を高めることができた。 ・ボランティア体験の事業は他の団体等でも行っているが、この事業の特色である子どもを対象とした活動であることや活動内容を参加者が考えるということを中学・義務教育学校・高校生に知らせ、参加者増を図りたい。

(2) 地域学校協働活動推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり																
政 策	地域とともに学び育てるまちづくり																
施策名	学校・家庭・地域連携による教育力の向上																
基本事業名	地域の教育力を活かす取組																
事業概要及び実施状況	○事業概要 各地域において子供、保護者、教職員、地域住民が学び合い高め合える地域コミュニティを創造するため、学校支援ボランティア活動の環境整備を推進するためにボランティア保険に加入した。また、学校と地域を繋ぐ「地域コーディネーター」等の資質向上のため研修会を開催した。 ○実施状況 学校支援ボランティア活動支援 保険加入者 899人 延べ活動人数 42,704人 P T A交通補導箇所交通事故傷害保険 加入者 255人 補導箇所数 229箇所 地域コーディネーター養成研修 参加者数 44人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th><th>学習テーマ</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/29(火) 9:30～</td><td>講話・協議 「これからの学校と地域の連携の在り方について とちぎ市民協働研究会 廣瀬 隆人氏</td><td>13人</td></tr> <tr> <td>8/3(火) 9:30～</td><td>講話 「上三川中学校 学校支援ボランティアの実践」 上三川町立上三川中学校 学校支援コーディネーター 佐藤 広子 氏</td><td>9人</td></tr> <tr> <td>11/4(木) 14:00～ (オンライン)</td><td>講話 「学校を核とした地域づくりに向けて」 ～地域と連携した活動を進めるために～ 頑張る学校・地域！応援プロジェクトモデル事業 地域連携マイスター 福田 晴一 氏</td><td>10人</td></tr> <tr> <td>2/14(月)～ 2月28日(月) (オンデマンド 配信)</td><td>講話 「ネット時代を築く大人の役割 ～地域・家庭・学校の連携を考える～」 合同会社ロジカルキット代表 下田 太一 氏 シンポジウム 「地域・家庭・学校が連携して、 子どもたちのために何ができるか」 コーディネーター：下田 太一 氏 (合同会社ロジカルキット 代表)</td><td>12人</td></tr> </tbody> </table>		日時	学習テーマ	参加人数	6/29(火) 9:30～	講話・協議 「これからの学校と地域の連携の在り方について とちぎ市民協働研究会 廣瀬 隆人氏	13人	8/3(火) 9:30～	講話 「上三川中学校 学校支援ボランティアの実践」 上三川町立上三川中学校 学校支援コーディネーター 佐藤 広子 氏	9人	11/4(木) 14:00～ (オンライン)	講話 「学校を核とした地域づくりに向けて」 ～地域と連携した活動を進めるために～ 頑張る学校・地域！応援プロジェクトモデル事業 地域連携マイスター 福田 晴一 氏	10人	2/14(月)～ 2月28日(月) (オンデマンド 配信)	講話 「ネット時代を築く大人の役割 ～地域・家庭・学校の連携を考える～」 合同会社ロジカルキット代表 下田 太一 氏 シンポジウム 「地域・家庭・学校が連携して、 子どもたちのために何ができるか」 コーディネーター：下田 太一 氏 (合同会社ロジカルキット 代表)	12人
日時	学習テーマ	参加人数															
6/29(火) 9:30～	講話・協議 「これからの学校と地域の連携の在り方について とちぎ市民協働研究会 廣瀬 隆人氏	13人															
8/3(火) 9:30～	講話 「上三川中学校 学校支援ボランティアの実践」 上三川町立上三川中学校 学校支援コーディネーター 佐藤 広子 氏	9人															
11/4(木) 14:00～ (オンライン)	講話 「学校を核とした地域づくりに向けて」 ～地域と連携した活動を進めるために～ 頑張る学校・地域！応援プロジェクトモデル事業 地域連携マイスター 福田 晴一 氏	10人															
2/14(月)～ 2月28日(月) (オンデマンド 配信)	講話 「ネット時代を築く大人の役割 ～地域・家庭・学校の連携を考える～」 合同会社ロジカルキット代表 下田 太一 氏 シンポジウム 「地域・家庭・学校が連携して、 子どもたちのために何ができるか」 コーディネーター：下田 太一 氏 (合同会社ロジカルキット 代表)	12人															

	シンポジスト：舘野 進一 氏 (安足地区ふれあい学習推進委員会 委員長) 堀川 悦郎 氏 (佐野市小・中・義務教育学校 PTA 連絡協議会 顧問) 熊倉 善博 氏 (足利市立三重小学校 教諭)
考 察	・コロナ禍において、学校でのボランティア活動が休止することがあったが昨年度に比べると、学校での行事等も増えたためボランティア保険加入者数が増加した。地域コーディネーター養成研修も安足教育事務所と共催して開催できた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった研修もあったが、令和3年度はオンライン・オンデマンド配信で開催することができ、学びの場の確保ができた。

(3) 放課後子ども教室推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり																																		
政 策	地域とともに学び育てるまちづくり																																		
施策名	学校・家庭・地域連携による教育力の向上																																		
基本事業名	地域の教育力を活かす取組																																		
事業概要及び実施状況	○事業概要 地域住民の参画を得て、小学校区ごとに放課後子ども教室実行委員会を設置し、放課後子ども教室の運営を委託した。なお、9校区実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により6校区での実施となった。6校区では感染症対策を講じながら、放課後子ども教室を実施し、子どもの安全で安心な居場所を確保し、子どもたちに様々な体験・交流活動の機会を定期的、継続的に提供した。また、地域住民が関わることで、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進した。 また、放課後子どもプラン運営委員会については、新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催とした。 ○放課後子ども教室実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>放課後子ども教室名</th><th>開設形態</th><th>実施回数</th><th>参加者数 (1回平均)</th><th>実施場所</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旗川小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>14回</td><td>273名 (20名)</td><td>図書館、空き教室 他</td><td>折り紙、創作活動 他</td></tr> <tr> <td>石塚小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>61回</td><td>2,140名 (35名)</td><td>校庭、空き教室 他</td><td>季節の行事、外遊び 他</td></tr> <tr> <td>出流原小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>11回</td><td>75名 (7名)</td><td>空き教室</td><td>工作、バルーン 他</td></tr> <tr> <td>葛生小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>13回</td><td>98名 (8名)</td><td>空き教室 他</td><td>クリケット、化石磨き 他</td></tr> </tbody> </table>					放課後子ども教室名	開設形態	実施回数	参加者数 (1回平均)	実施場所	内容	旗川小学校区放課後子ども教室	待機型	14回	273名 (20名)	図書館、空き教室 他	折り紙、創作活動 他	石塚小学校区放課後子ども教室	待機型	61回	2,140名 (35名)	校庭、空き教室 他	季節の行事、外遊び 他	出流原小学校区放課後子ども教室	待機型	11回	75名 (7名)	空き教室	工作、バルーン 他	葛生小学校区放課後子ども教室	待機型	13回	98名 (8名)	空き教室 他	クリケット、化石磨き 他
放課後子ども教室名	開設形態	実施回数	参加者数 (1回平均)	実施場所	内容																														
旗川小学校区放課後子ども教室	待機型	14回	273名 (20名)	図書館、空き教室 他	折り紙、創作活動 他																														
石塚小学校区放課後子ども教室	待機型	61回	2,140名 (35名)	校庭、空き教室 他	季節の行事、外遊び 他																														
出流原小学校区放課後子ども教室	待機型	11回	75名 (7名)	空き教室	工作、バルーン 他																														
葛生小学校区放課後子ども教室	待機型	13回	98名 (8名)	空き教室 他	クリケット、化石磨き 他																														

	葛生南小学校区放課後子ども教室	待機型	15 回	79 名 (5 名)	空き教室	読み聞かせ、ゲーム、工作 他
	合唱団どんぐり子ども教室	日常型	6 回	31 名 (5 名)	葛生地区公民館	合唱、ゲーム 他
	※県費補助事業 国、県各 1/3、市 1/3					
考 察	・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、学校や地域と協議しながら可能な限り実施することができた。今後も、感染症対策を講じながら、子どもの安心・安全な居場所の確保を進めたい。 ・新・放課後子ども総合プランにより、放課後子ども教室とこどもクラブを、一体的または連携して実施することが望ましいとされており、計画的に実施していく必要がある。今後、こどもクラブとの連携を図るために放課後子どもプラン運営委員会での協議や、こども課と生涯学習課、こどもクラブと放課後子ども教室のスタッフ間の連携を密にすることが望まれる。 ・令和 5 年度には葛生中・常盤中学校区に、その後も他中学校区に義務教育学校の開校が予定されているが、現在放課後子ども教室のある校区も含まれる。そのため、放課後子ども教室の設置に関する調査、周知等を行い、義務教育学校の開設に伴う放課後子ども教室の開設の検討を進める。 ・地域の実情に応じた新たな放課後子ども教室の形態を模索しながら、地域に根差した「安全で安心な子どもの居場所」を目指した教室となるよう検討していきたい。					

(4) 街頭補導実施事業

基本目標	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり
政 策	安全で安心して暮らせるまちづくり
施策名	交通安全・防犯・消費者対策の推進
基本事業名	防犯意識の高揚と防犯体制の整備・充実
事業概要及び実施状況	○事業概要 教育委員会より委嘱した少年補導員 71 人が 23 班を編成して午後、夕方、夜間の時間帯で市内の娯楽施設、盛り場、駅及び公園そのほか非行が行われやすい場所を巡回する。 ○実施状況 従事回数 263 回・延べ参加人数 360 人、現場注意指導 96 人、声かけ 377 人の実績があった。

	【現場注意指導等人数の内訳】			
	区分	指導	声かけ	合計
	未就学児	0人	13人	13人
	小学生	20人	99人	119人
	中学生	27人	93人	120人
	高校生	47人	169人	216人
	その他	2人	3人	5人
	合計	96人	377人	473人
考 察	・巡回補導で声掛けすることにより青少年の非行の早期発見、未然防止を図っている。今後も補導回数や補導内容を検討しながら、青少年の健全育成に努めていきたい。			

(5) 公民館利用状況

公民館名	延利用件数(件)			延利用人数(人)		
	令和3年度	令和2年度	増減	令和3年度	令和2年度	増減
中央	1,854	1,385	469	14,989	11,429	3,560
植野	1,300	1,163	137	13,895	12,664	1,231
界	1,057	887	170	10,456	7,728	2,728
犬伏	1,050	862	188	13,332	9,484	3,848
城北	1,658	1,462	196	17,279	14,774	2,505
旗川	521	423	98	8,446	4,644	3,802
吾妻	336	291	45	5,319	3,728	1,591
赤見	1,008	877	131	12,481	13,075	△594
〔佐野地区小計〕	8,784	7,350	1,434	96,197	77,526	18,671
田沼中央	1,012	804	208	14,076	10,264	3,812
田沼地区	562	512	50	5,773	5,476	297
田沼南部	54	31	23	1,299	372	927
〔田沼地区小計〕	1,628	1,347	281	21,148	16,112	5,036
葛生	341	312	29	3,335	3,327	8
常盤	290	259	31	3,159	2,595	564
氷室	113	93	20	1,098	830	268

公民館名	延利用件数(件)			延利用人数(人)		
	令和3年度	令和2年度	増減	令和3年度	令和2年度	増減
[葛生地区小計]	744	664	80	7,592	6,752	840
[合計]	11,156	9,361	1,795	124,937	100,390	24,547

利用状況については、全体で利用件数が1,795件、利用人数が24,547人増加した。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館（令和3年8月8日～9月30日）及び利用制限を実施。

委員からの意見

- ・コミュニティ・スクールの導入により、地域コーディネーターの必要性が高まっている。地域コーディネーターの十分な育成を図ってほしい。
- ・放課後子ども教室推進事業について、児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験、活動ができるように努めてほしい。
- ・街頭補導実施事業について、巡回補導での声掛けが児童生徒の非行へのブレーキになると同時に、保護者や大人たち自身が子ども達の世界の認識を再確認する大事な事業であるので、ぜひ続けてもらいたい。
- ・公民館での『スマホ講座』は、高齢者にとって大変良い。多くの人にスマホを有効活用できるようになっていただき、社会との関わりや楽しみを広げてほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

オンライン講座が利用できるように、教える機会を設けてほしい。

【報告】

令和3年度、情報政策課の協力によりデジタル活用支援推進事業として、公民館においてスマホ講座を開催し、令和4年度も実施予定である。この講座の開催により、高齢者等のオンラインでのサービス利用やオンライン講座の参加などが利用できるよう進めていく。

【意見】

電子書籍の導入について検討してほしい。

【報告】

指定管理者と連携し、情報収集を行い電子書籍導入について研究を行っている。今後も他市の状況等を踏まえ、研究を継続していく。

(6) 文化財課・郷土博物館・葛生化石館・葛生伝承館

1 組織、事務分掌及び職員（令和3年4月1日現在）

区 分	主 な 事 務 分 掌	職員数 (人)
課長	課内全般	1
文化財保護係	文化財保護に関すること、文化財保護審議会に関すること、 史跡の保存整備に関すること、埋蔵文化財に関すること	6
郷土博物館	施設設備の維持管理、郷土博物館協議会、考古・歴史・民俗 等の資料収集・保管・調査研究、企画展等開催、講座・講演 会の開催、博学連携事業等	3
葛生化石館	施設設備の維持管理、化石等収集・保存・管理・展示・調査 研究、講座・講演会の開催、企画展等開催、学校連携事業、 他博物館連携等	2 (うち1人は葛 生伝承館兼務)
葛生伝承館	施設設備の維持管理、郷土芸能資料収集・保管・展示・調査 研究、企画展開催、講座・講演会の開催等	1
計		13

2 点検・評価

文化財課は佐野市総合計画に基づき、令和3年度に26の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、唐沢山城跡保存整備事業、文化財保護調査事業、郷土博物館
企画展等開設事業、葛生化石館企画展等開設事業について、次のとおり考察した。

(1) 唐沢山城跡保存整備事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政 策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及 び実施状況	○事業概要 平成26年3月に国指定史跡となった唐沢山城跡を後世に良好な状態で伝えるため、平成26年度から長期的な保存管理や整備活用を目指した取り組みとして唐沢山城跡保存整備事業に着手した。令和2年度から本丸西側虎口の石垣解体工事とそれに伴う発掘調査、石垣の積直し工事を進めている。今後も、環境整備や安全対策施設、案内サイン、排水施設、ガイダンス施設等の整備について計画的に進める。 ○実施状況 ・保存整備調査指導委員会を3回開催したほか、事業の進捗に応じて考古学や石垣、自然等の各分野の専門家の個別指導を仰ぎ、指導・助言を得た。

	・本丸西側虎口の石垣積直し工事に着手したが、工法の再検討が必要となったため工事を一時中止して、令和4年度に繰越した。 ・史跡の維持管理として、城跡の西麓部（枋本側）の除草を業務委託により夏・秋2回実施した。 ・ボランティア団体である史跡唐沢山城跡保存会が行う史跡の環境維持活動を支援した。しかし、史跡案内活動については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の実施となったため、十分な支援が行えなかった。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティア養成講座や講演会は中止した。 ・埋蔵文化財専門職員の採用試験を実施したが、採用には至らなかった。
考 察	・石垣積直し工事について繰越を行うなど、整備基本計画の当初スケジュールから遅れが生じていることから、事業の執行について全体的な見直しが必要である。 ・史跡の維持管理については、除草作業のほかに、石垣の日常点検を計画的に実施し、異常の有無について記録化（石垣カルテの更新）する必要がある。 ・ボランティア団体への活動支援や、ボランティア人材の育成は、今後も継続的に実施しながら、将来的にはボランティア独自の活動として自立化し、発展することにつなげていく必要がある。 ・史跡の価値や魅力、事業の必要性について、広く市民の理解を得られるように普及啓発活動を強化する必要がある。 ・史跡の活用や情報発信の拠点となるガイダンス施設は、事業の進捗状況を考慮しながら、庁内や関係機関との調整を図る必要がある。 ・円滑な事業執行体制のため、文化財専門職員の採用及び育成と、技術職員の配置など体制の充実が不可欠であり、令和4年度も採用試験の実施に向けて庁内の調整を進める。

（２）文化財保護調査事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政 策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び実施状況	○事業概要 指定文化財等に対する適切な維持管理、指導及び資料整理等により、佐野市域における文化財の適切な保存活用を促進する。 ○実施状況 ・市管理の市指定史跡や天然記念物等の草刈り、清掃作業等の維持管理

	葛生人骨出土跡の駐車場清掃委託（通年実施） 赤見城跡の草刈業務委託（6月・9月） 佐野城跡の犬走遺構草刈（8月） 小堀鞆音画伯生誕の地の除草（8月） 葛生人骨出土跡・石灰谷焼窯跡の草刈委託（10月） 木浦原のザゼンソウ群落の草刈・清掃の実施（11月・2月） 木浦原のザゼンソウ群落の擬木柵修繕（11月） ・新たな文化財指定や登録に関する調査 - 国登録有形文化財候補物件として、唐澤山神社本殿他5件の現地調査を実施 ・埋蔵文化財保護の指導・協議 - 埋蔵文化財包蔵地に関する照会 1,790件（うち該当268件） - 開発行為に伴う埋蔵文化財の対応 工事立会 47件 ・佐野市文化財調査報告書の刊行 『佐野市の文化財保護』（令和2年度） 『イドの沢窯跡-砕石原料の採掘に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』 『四十八塚古墳群-(仮称)出流原 PA スマートインターチェンジ整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
考 察	・市管理の指定文化財については、適切に維持管理を行った。 ・唐澤山神社本殿他5件については、国登録有形文化財化を目指し、令和4年度内に、文化庁調査官の現地調査を受け、意見具申を行う。 ・埋蔵文化財包蔵地の範囲が不明瞭である旧田沼・葛生町域の照会事務には苦慮しているところであるが、この現状を解消するために、令和4年度から市域全体をカバーする遺跡地図を作成し、市民・事業者 zu 正確な埋蔵文化財包蔵地の範囲を周知し、埋蔵文化財の損壊の防止に努める。 ・文化財保護意識の啓発を図るため、『佐野市の文化財保護』を平成18年度から刊行し、以降各年の文化財保護事業の報告を行っている。

（3）郷土博物館企画展等開設事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政 策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進

事業概要及び実施状況	展 示 会 名	期 間	入館者数
	『朝日森天満宮～日光例幣使参拝の神社～』	4/24～6/20	2,127 人
	栃木県立博物館地域移動博物館 『貝づくし！～美しい貝、美味しい貝、とちぎの貝～』	7/31～8/7	293 人
	『中根東里展～「芳子」と門人たち～』	10/2～11/28	932 人
	収蔵資料展『くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～』	1/4～2/23	1,316 人
	合 計	148 日	4,668 人
	・春と秋には企画展、夏には県立博物館地域移動博物館、冬には収蔵資料展を開催し、開催日数は 148 日、入館者 4,668 人、1 日平均 32 人であった。		
考 察	・新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館となり、夏の企画展は 7 日間と大幅に会期が短縮され、入館者も 293 人と大きく減少した。 ・予定の会期どおりに開催できた他の企画展も、団体入館者が減少し、学校利用による小学生の見学が中止になったため来館者は大きく減少した。 ・年間入館者数は新型コロナウイルス感染拡大防止による休館の影響で、前年度比 2,196 人減になった。今後も感染症の拡大状況に留意しながら、企画展を開催していきたい。		

(4) 葛生化石館企画展等開設事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		
政 策	歴史・文化を守り育てるまちづくり		
施策名	歴史・文化資源の継承と保存		
基本事業名	歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進		
事業概要及び実施状況	展 示 会 名	期 間	入館者数
	第 15 回新着標本展	4/1～5/16	2,268 人
	「日本の石灰岩と化石展～旅する石灰岩の物語～」	7/17～ R4.1/30	5,753 人
	第 16 回新着標本展	2/11～3/31	1,895 人
	合 計	195 日	9,916 人
	年間合計	236 日	11,787 人

	・「第15回新着標本展」は令和元年度後半から令和2年度前半に、「第16回新着標本展」は令和2年度後半から令和3年度前半に寄贈及び収集の標本を紹介展示した。それぞれ、開催日数39日間、40日間だった。 ・「日本の石灰岩と化石展～旅する石灰岩の物語～」は、遠方から運ばれた石灰岩や日本付近でできた石灰岩等の日本各地の石灰岩と化石を紹介展示した。開催日数は116日間だった。 ・年間3回の企画展を開催し、開催日数195日、入館者数9,916人、1日平均51人であった。
考 察	・新型コロナウイルス感染症の影響で8/8～9/30まで臨時休館となったため、「日本の石灰岩と化石展～旅する石灰岩の物語～」は会期を延長し1/30まで開催した。その後の「第16回新着標本展」も会期を変更して開催した。企画展の入館者数は9,916人で前年度より2,822人増加したが、臨時休館の他、市民限定、時間短縮等の制約もあり、従来の入館者数からは大きく減少しており、今後の回復が懸念される状況である。 ・今後も親しみやすく、化石や自然科学に関心を持ってもらい、より多くの方に足を運んでもらえるような企画展を開催していきたい。

委員からの意見

- ・唐沢山城跡について、積極的に情報発信してほしい。
- ・唐沢山城跡は佐野を代表する歴史的な文化遺産であり、保存・活用のためにも、文化財専門職員の採用あるいは育成について継続して検討してほしい。
- ・唐沢山城跡のパンフレットについて、小学生にも分かりやすい工夫をしてほしい。
- ・遺跡地図の作成について、完成すれば照会に対し早く回答ができるようになるので、進めてほしい。
- ・新型コロナウイルスの影響で充分に見せられない企画展について、内容を動画配信するなど、在宅でも楽しめる工夫やPRをしてほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

天明鋳物を市の宝として保存し、もっと広めていってほしい。

【報告】

天明鋳物については、市の文化推進課（※現在の課名）において「商標登録」に向けての活動を行っている。文化財課では、天明鋳物の後世への保存継承と知名度の向上に資する「国重要有形民俗文化財」への指定を目指し、伝統的な生産用具等の記録化に対し補助金を交付すると共に、文化庁調査官・栃木県文化財課により実物資料や作成資料を確認してもらった。その他、令和5年度の指定化実現のため関係者への指導や連絡調整も行っている。

【意見】

子どもたちのために今後もよい企画を実施してほしい。

【報告】

郷土博物館では、令和３年度企画展として春は『朝日森天満宮一日光例幣使参拝の神社―』、夏は栃木県立博物館地域移動博物館『貝づくし―美しい貝、美味しい貝、とちぎの貝―』、秋は『中根東里展―「芳子」と門人たち』、冬は収蔵資料展『くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～』を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期中で中止になった企画もあるが、いずれも好評で、市外からの入館者も多く、子供だけでなく大人も楽しめる企画を実施したと考える。

4 全体を通しての委員からの意見

委員からの意見

- ・教員志望者が減少しているが、未来を担う子どもたちのために教員を志望する方が増えるよう長時間労働やストレス等について少しでも解決して欲しい。
- ・「親ガチャ」という言葉があるが、子ども達の育つ環境には経済的な面での影響が大きい。いろいろな事情で不登校となる子もいるが、そういった子達も希望する進路を実現できるよう、より一層の公的支援の充実をお願いしたい。
- ・技術の発展とコロナ禍で、店でも会話しないで済むような社会になってきたが、子ども達の会話力や対人能力が育つのか不安を感じる。新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」を実現できるような教育をお願いしたい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

教員の資質向上に今後も努めてほしい。

【報告】

県教委からの依頼を受けて、夏休み前の現職教育等で、全教職員にコンプライアンスチェックを実施している。各学校では、調査の範囲を県費負担職員だけでなく、さわやか指導員等や用務員等の市採用の会計年度任用職員まで広げ、実態の把握や指導のために活用している。

また、近年起こっている他地域での不祥事案件については、他山の石として啓発に努めるよう、校長会や教頭会等の機会を利用して伝達している。実際には、新聞記事等をコピーして、不祥事が起きた背景、不祥事が起きた後の対応、個人及び組織として不祥事を防ぐ方法等を話し合い、学校全体として教職員のモラル向上に向けて取り組んでいる学校が多くみられる。

【意見】

GIGAスクール構想を生かし、子どもの学びの向上や教職員の負担軽減につながるような取組をしてほしい。

【報告】

1人1台端末が配備されたことで、各学校で端末を活用した授業づくりが進んだ。端末を活用した子どもの学びの向上のためには教員のICT活用指導力の育成が不可欠なことから、教育センター主催のICT活用関係研修を3回実施するとともに、業者による各校への訪問研修を各校1回実施した。また、時間外自主研修であるパワーアップ研修でも端末の活用やプログラミングについての研修を3回行い、多くの教職員が参加した。

端末を利用して会議や研修会等をオンラインで実施することにより、移動の時間が削減され、教職員の負担を軽減することができた。

〔教員の ICT 活用指導力〕

- A 教材研究・指導の準備・評価・校務などに I C Tを活用する能力
- B 授業中に I C Tを活用して指導する能力
- C 児童生徒の I C T活用を指導する能力
- D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力

【意見】

今後、今まで以上に、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される。デルタ株は児童生徒にも感染しやすいとのことなので、休校中の学びを保障するためのオンライン学習の充実と先手の対応をお願いしたい。

【報告】

新型コロナウイルス感染症の影響による9月の市内一斉臨時休業の際には、子供の学びの保障のため、1人1台端末を活用したオンライン学習やオンライン授業を全校で実施した。その際、Wi-Fi環境のない家庭を支援するため、各校にモバイルWi-Fiルータを配付し、必要な家庭に貸し出せるようにした。

1人1台端末活用の日常化を図るため、教育センターとして月1回「GIGA通信」を発行し、端末の効果的な活用事例を各学校に紹介した。また、市内小中学校の情報教育担当教員の代表による1人1台端末の利活用に関する調査研究を行い、研究の成果を紀要として全校に配付し共有した。

令和3年度執行事務事業一覧(教育委員会関係)

基本目標	〔前期基本計画〕			R3 事務事業名	R3 担当課名
	政策	施策	基本事業名		
2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり				
	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり			
	2	歴史・文化資源の継承と保存			
		1	歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承		
			文化財保護調査事業	文化財課	
			文化財保護審議会運営事業	文化財課	
			指定文化財保存修復支援事業	文化財課	
			唐沢山城跡保存整備事業	文化財課	
			天命鑄物伝承保存会記録化活動支援事業	文化財課	
			全国史跡整備市町村協議会参画事業	文化財課	
		2	歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進		
			田中正造旧宅一般公開支援事業	文化財課	
			郷土博物館維持管理事業	文化財課(郷土博物館)	
			郷土博物館運営事業	文化財課(郷土博物館)	
			郷土博物館協議会運営事業	文化財課(郷土博物館)	
			日本博物館協会参画事業	文化財課(郷土博物館)	
			栃木県博物館協会参画事業	文化財課(郷土博物館)	
			郷土博物館企画展等開設事業	文化財課(郷土博物館)	
			郷土博物館学校利用推進事業	文化財課(郷土博物館)	
			郷土博物館講座等開設事業	文化財課(郷土博物館)	
			郷土資料保存三好館維持管理事業	文化財課(郷土博物館)	
			郷土資料保存三好館運営事業	文化財課(郷土博物館)	
			田中正造関係資料購入事業	文化財課(郷土博物館)	
			葛生伝承館維持管理事業	文化財課(葛生伝承館)	
			葛生伝承館運営事業	文化財課(葛生伝承館)	
			葛生伝承館企画展等開設事業	文化財課(葛生伝承館)	
			葛生伝承館講座等開設事業	文化財課(葛生伝承館)	
			葛生化石館維持管理事業	文化財課(葛生化石館)	
			葛生化石館運営事業	文化財課(葛生化石館)	
			葛生化石館企画展等開設事業	文化財課(葛生化石館)	
			葛生化石館講座等開設事業	文化財課(葛生化石館)	
	4	誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり			
		2	移住・定住の促進		
		2	定住化の促進		
				佐野市奨学金返済助成事業	教育総務課
		3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		
		1	健康で安心して暮らせるまちづくり		
		1	心と体の健康づくりの推進		
			1	健康づくりの推進	
				小学校児童フットボール洗口事業	学校教育課
		3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり		
1		豊かで健やかな長寿社会の実現			
		1	生きがいづくりと社会参加の促進		
			敬老会開催事業	生涯学習課	
			敬老会開催支援事業	生涯学習課	
4		豊かな心を育み、学び合うまちづくり			
	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり			
	1	特色ある教育と心の教育の推進			
		1	生きる力の育成		
			教育委員会運営事業	教育総務課	
			栃木県市町村教育委員会連合会参画事業	教育総務課	
			学校評議員制度推進事業	教育総務課	
			コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課	
			教育振興基本計画策定事業	教育総務課	
			栃木県へき地複式分校教育振興会参画事業	学校教育課	
			栃木県へき地複式分校教育研究会参画事業	学校教育課	
			外国青年英語指導助手指導事業	学校教育課	
			佐野日本大学短期大学英語教育連携事業	学校教育課	
			小学校教員海外派遣研修事業	学校教育課	
			ランカスター市中学生相互交流事業	学校教育課	
			栃木県養護教育研究会参画事業	学校教育課	
			就学事務	学校教育課	
			新聞教育推進事業	学校教育課	
			教科用図書採択協議会運営事業	学校教育課	
			学校芸術祭運営事業	学校教育課	
			学校教育指導計画作成事業	学校教育課	
			理科研究展覧会等開催支援事業	学校教育課	
			心の教育推進事業	学校教育課	
			さわやか教育指導員配置事業	学校教育課	
			さわやか健康指導員配置事業	学校教育課	
			特別非常勤講師配置事業	学校教育課	
			善行賞表彰事業	学校教育課	
			小学校健康管理支援事業	学校教育課	
			栃木県小学校長会参画事業	学校教育課	
			栃木県公立小中学校教頭会参画事業(小学校)	学校教育課	
			小学校体育連盟記録会等開催支援事業	学校教育課	
			小学校学校保健会支援事業	学校教育課	
			日本語教室事業	学校教育課	
			小学校研究指定校研究事業	学校教育課	
			小学校部活動指導者派遣事業	学校教育課	

令和3年度執行事務事業一覧(教育委員会関係)

基本目標	〔前期基本計画〕		基本事業名	R3 事務事業名	R3 担当課名
	政策	施策			
			小学校部活動支援事業	学校教育課	学校教育課
			保育園・幼稚園・小学校教育研究推進事業	学校教育課	学校教育課
			小学校教師用教科書・指導書整備事業	学校教育課	学校教育課
			小学校準教科書給与事業	学校教育課	学校教育課
			小学生英語検定料助成事業	学校教育課	学校教育課
			東日本大震災に伴う被災児童就学援助事業	学校教育課	学校教育課
			小学校就学援助事業	学校教育課	学校教育課
			海の自然体験活動推進事業	学校教育課	学校教育課
			3・4年生社会科副読本発行事業	学校教育課	学校教育課
			市長表彰事業	学校教育課	学校教育課
			中学校健康管理支援事業	学校教育課	学校教育課
			中学校文化連盟運営支援事業	学校教育課	学校教育課
			中学校体育連盟大会開催支援事業	学校教育課	学校教育課
			栃木県中学校長会参画事業	学校教育課	学校教育課
			栃木県公立小中学校教頭会参画事業(中学校)	学校教育課	学校教育課
			中学校学校保健会支援事業	学校教育課	学校教育課
			中学校研究指定校研究事業	学校教育課	学校教育課
			中学校教師用教科書・指導書整備事業	学校教育課	学校教育課
			中学校準教科書給与事業	学校教育課	学校教育課
			中学校道徳副読本整備事業	学校教育課	学校教育課
			東日本大震災に伴う被災生徒就学援助事業	学校教育課	学校教育課
			中学校部活動支援事業	学校教育課	学校教育課
			中学生英語検定料助成事業	学校教育課	学校教育課
			中学校就学援助事業	学校教育課	学校教育課
			中学校運動部活動指導者派遣事業	学校教育課	学校教育課
			地域部活動推進事業	学校教育課	学校教育課
			教職員等新型コロナウイルス感染症対策事業	学校教育課	学校教育課
			小学校新型コロナウイルス感染症対策学校行事支援事業	学校教育課	学校教育課
			中学校新型コロナウイルス感染症対策学校行事支援事業	学校教育課	学校教育課
			栃木県不登校適応指導研究会参画事業	教育センター	教育センター
			アクティヴ教室運営事業	教育センター	教育センター
			学校給食センター運営協議会運営事業	学校教育課	学校教育課
			学校給食研究会運営事業	学校教育課	学校教育課
			学校給食費未納対策事業	学校教育課	学校教育課
			2 教職員の資質の向上		
			教員研修事業	学校教育課	学校教育課
			調査研究事業	教育センター	教育センター
			栃木県教育研究所参画事業	教育センター	教育センター
			諸検査実施委託事業	教育センター	教育センター
			教育講演会開催事業	教育センター	教育センター
			教職員の指導力向上事業	教育センター	教育センター
			教育センター維持管理事業	教育センター	教育センター
			情報教育アドバイザー活用事業	教育センター	教育センター
			3 小中一貫教育の推進		
			小中一貫教育推進事業	学校教育課	学校教育課
			4 特別支援教育の推進		
			栃木県特別支援学校教育振興会参画事業	学校教育課	学校教育課
			教育支援委員会運営事業	学校教育課	学校教育課
			特別支援学級支援員配置事業	学校教育課	学校教育課
			特別支援教育研究会作品展開催支援事業	教育センター	教育センター
			スクーリング・サポート事業	教育センター	教育センター
			巡回相談事業	教育センター	教育センター
			9 基本事業外(庶務経費)		
			教育委員会事務局運営事業	教育総務課	教育総務課
			学校教育事務	学校教育課	学校教育課
			学校給食事務	学校教育課	学校教育課
			2 安全で安心して学べる教育環境の整備		
			1 安全で快適な学校施設の整備		
			学校整備基金積立金	学校管理課	学校管理課
			栃木県公立学校施設整備期成会参画事業	学校管理課	学校管理課
			学校管理事務	学校管理課	学校管理課
			小学校運営事業	学校管理課	学校管理課
			小学校維持管理事業	学校管理課	学校管理課
			小学校校内緑化環境推進事業	学校管理課	学校管理課
			小学校エアコン設置事業	学校管理課	学校管理課
			小学校トイレ洋式化事業	学校管理課	学校管理課
			小学校トイレ洋式化事業(R2年度繰越)	学校管理課	学校管理課
			小学校遊具改修事業	学校管理課	学校管理課
			小学校外構改修事業	学校管理課	学校管理課
			小学校教育推進事業	学校管理課	学校管理課
			小学校スクール・サポートスタッフ配置事業	学校管理課	学校管理課
			小学校校納金管理システム運用事業	学校管理課	学校管理課
			小学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業	学校管理課	学校管理課
			小学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業(R2年度繰越)	学校管理課	学校管理課
			小学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業	学校管理課	学校管理課
			小学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業(R2年度繰越)	学校管理課	学校管理課
			中学校運営事業	学校管理課	学校管理課
			中学校維持管理事業	学校管理課	学校管理課
			中学校屋内運動場改修事業	学校管理課	学校管理課
			中学校校内緑化環境推進事業	学校管理課	学校管理課

令和3年度執行事務事業一覧(教育委員会関係)

基本目標	〔前期基本計画〕		基本事業名	R3 事務事業名	R3 担当課名		
	政策	施策					
			中学校トイレ洋式化事業	学校管理課			
			中学校トイレ洋式化事業(R2年度繰越)	学校管理課			
			城東中学校受水槽改修事業(R2年度繰越)	学校管理課			
			中学校外構改修事業	学校管理課			
			中学校教育推進事業	学校管理課			
			中学校スクール・サポートスタッフ配置事業	学校管理課			
			中学校校納金管理システム運用事業	学校管理課			
			中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業	学校管理課			
			中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業(R2年度繰越)	学校管理課			
			中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業	学校管理課			
			中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業(R2年度繰越)	学校管理課			
			小学校ICT環境維持管理事業	教育センター			
			中学校ICT環境維持管理事業	教育センター			
			新型コロナウイルス感染症対策ICT環境整備事業	教育センター			
			学校給食アレルギー対策事業	学校教育課			
			学校給食センター調理・配送等業務委託事業	学校教育課			
			南部学校給食センター児童生徒給食費	学校教育課			
			南部学校給食センター管理運営事業	学校教育課			
			南部学校給食センター調理・配送業務委託事業	学校教育課			
			南部学校給食センター喫食用食器更新事業	学校教育課			
			北部学校給食センター児童生徒給食費	学校教育課			
			北部学校給食センター管理運営事業	学校教育課			
			2 市立学校の適正規模適正配置の推進				
			小中学校適正配置推進事業			学校管理課	
			田沼西部地区小中一貫校整備事業(R2年度繰越)			学校管理課	
			葛生・常盤中学校区小中学校閉校準備事業			学校管理課	
			葛生・常盤中学校区小中一貫校整備事業			学校管理課	
			葛生・常盤中学校区小中一貫校整備事業(R2年度繰越)			学校管理課	
			3 地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実				
			通学路安全対策事業			教育総務課	
			小学校スクールバス運行事業			学校管理課	
			小学校生活路線バス回数券交付事業			学校管理課	
			中学校スクールバス運行事業			学校管理課	
			中学校生活路線バス回数券交付事業			学校管理課	
			小学校日本スポーツ振興センター参画事業			学校教育課	
			中学校日本スポーツ振興センター参画事業			学校教育課	
			安全情報共有システム実施事業			教育センター	
			4 教育の機会均等に資する奨学金制度の拡充				
			奨学資金貸付事業			教育総務課	
			2 地域とともに学び育てるまちづくり				
			1 生活を豊かにする生涯学習の推進				
			1 学習情報及び場の提供				
			作原野外活動施設指定管理事業			生涯学習課	
			栃木県社会教育委員協議会参画事業			生涯学習課	
			生涯学習推進計画策定事業			生涯学習課	
			生涯学習推進協議会運営事業			生涯学習課	
生涯学習に関する職員等研修会事業			生涯学習課				
生涯学習情報収集・発信事業			生涯学習課				
両毛広域生涯学習ネットワーク推進事業			生涯学習課				
全国生涯学習市町村協議会参画事業			生涯学習課				
社会教育委員設置事業			生涯学習課				
社会教育指導員設置事業			生涯学習課				
社会教育担当職員研修会派遣事業			生涯学習課				
図書館協議会運営事業			生涯学習課				
図書館等指定管理事業			生涯学習課				
佐野各地区公民館維持管理事業			生涯学習課				
佐野各地区公民館運営事業			生涯学習課				
公民館運営審議会運営事業			生涯学習課				
中央公民館市民教養講座開催事業			生涯学習課				
中央公民館維持管理事業			生涯学習課				
中央公民館運営事業			生涯学習課				
栃木県公民館連絡協議会参画事業			生涯学習課				
佐野各地区公民館市民教養講座開催事業			生涯学習課				
公民館親と子の交流活動事業			生涯学習課				
田沼各地区公民館活動支援事業			生涯学習課				
田沼中央公民館維持管理事業			生涯学習課				
田沼各地区公民館維持管理事業			生涯学習課				
田沼中央公民館運営事業			生涯学習課				
田沼各地区公民館運営事業			生涯学習課				
田沼中央公民館市民教養講座開催事業			生涯学習課				
田沼各地区公民館活動事業			生涯学習課				
葛生(常盤・氷室)公民館維持管理事業			生涯学習課				
葛生文化センター維持管理事業			生涯学習課				
葛生地区公民館市民教養講座開催事業			生涯学習課				
葛生地区公民館維持管理事業			生涯学習課				
葛生(常盤・氷室)公民館運営事業			生涯学習課				
葛生地区公民館運営事業			生涯学習課				
中央公民館空調設備改修事業			生涯学習課				
中央公民館防水改修事業			生涯学習課				
吾妻地区公民館空調設備改修事業			生涯学習課				

令和3年度執行事務事業一覧(教育委員会関係)

基本目標	〔前期基本計画〕		基本事業名	R3 事務事業名	R3 担当課名
	政策	施策			
				田沼中央公民館空調設備改修事業	生涯学習課
				葛生地区公民館等高圧受電設備改修事業	生涯学習課
				市民大学開設事業	生涯学習課
				2 学習成果を活かす取組	
				生涯学習推進支援事業	生涯学習課
				生涯学習フォーラム開催事業	生涯学習課
				学習出前講座開催事業	生涯学習課
				プログラム開発実践講座開催事業	生涯学習課
				生涯学習活躍人養成講座推進事業	生涯学習課
				佐野市小中義務教育学校PTA連絡協議会支援事業	生涯学習課
				小中義務教育学校PTA連絡協議会新型コロナウイルス感染症対策支援事業	生涯学習課
				佐野市原水爆禁止協議会支援事業	生涯学習課
				栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部支援事業	生涯学習課
				「小さな親切」運動佐野支部支援事業	生涯学習課
				佐野ユネスコ協会支援事業	生涯学習課
				佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会支援事業	生涯学習課
				佐野市子ども連合会支援事業	生涯学習課
				佐野市民間指導員会支援事業	生涯学習課
				葛生ジュニアリーダーズクラブ支援事業	生涯学習課
				3 青少年の健全育成	
				佐野・芦屋青少年交流事業	生涯学習課
				青少年活動育成促進事業	生涯学習課
				佐野市の青少年とともに育つ市民の会支援事業	生涯学習課
				成人式開催事業	生涯学習課
				成人式企画運営事業	生涯学習課
				子ども会ジュニアリーダー研修会開催事業	生涯学習課
				子ども会育成者研修講座開催事業	生涯学習課
				青少年相談事業	生涯学習課(少年指導センター)
				安足地区青少年育成連絡協議会参画事業	生涯学習課(少年指導センター)
				学童野球・ソフトボール振興会支援事業	生涯学習課(少年指導センター)
				9 基本事業外(庶務経費)	
				生涯学習推進事務	生涯学習課
				2 学校・家庭・地域連携による教育力の向上	
				1 いじめ問題に対する学校・家庭・地域の連携	
				いじめ問題対策事業	学校教育課
				いじめ防止アドバイザー活用事業	学校教育課
				いじめ防止推進事業	学校教育課
				教育相談事業	教育センター
				心の教室相談員活用事業	教育センター
				スクールカウンセラー活用事業	教育センター
				スクールソーシャルワーカー活用事業	教育センター
				2 家庭教育支援の推進	
				家庭教育推進講座開催事業	生涯学習課
				3 地域の教育力を活かす取組	
				中学生マイ・チャレンジ(職場体験)事業	学校教育課
				放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
				地域学校協働活動推進事業	生涯学習課
				5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	
				1 安全で安心して暮らせるまちづくり	
				2 交通安全・防犯・消費者対策の推進	
				3 防犯意識の高揚と防犯体制の整備・充実	
				佐野市暴力追放連合会参画事業	教育総務課
				街頭補導実施事業	生涯学習課(少年指導センター)
				少年補導員会運営支援事業	生涯学習課(少年指導センター)
				6 美しい自然、環境と調和するまちづくり	
				2 地球環境に配慮したまちづくり	
				1 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー対策の推進	
				2 省エネルギー対策の推進	
				佐野市教育委員会エネルギー管理事業	教育総務課
				7 市民参加による自立したまちづくり	
				1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり	
				1 市民と協働した地域づくりの推進	
				2 市民活動団体への支援と連携強化	
				栃本地区コミュニティ・社会福祉協議会備品購入支援事業	生涯学習課
				戸奈良地区コミュニティ社会福祉推進協議会備品購入支援事業	生涯学習課
				山越町コミュニティセンター施設整備支援事業	生涯学習課
				3 地域活動の充実	
				田沼各地区コミュニティセンター維持管理事業	生涯学習課
				佐野市コミュニティ推進連絡協議会支援事業	生涯学習課
				栃本地区コミュニティセンター空調設備改修事業	生涯学習課
				会沢地区コミュニティセンター維持管理事業	生涯学習課
				2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現	
				1 人権意識の高揚と人権問題の解決	
				人権教育研究会運営事業	学校教育課
				学校教育における人権教育研究推進事業	学校教育課
				社会教育指導員(人権教育)設置事業	生涯学習課